

開講日	2020年秋期 木曜日18:30(出発時間)~20:00(到着予定)	講義場所 受講資格	受講条件:周産期プロバイダー (分娩に携わる全ての職種メンバー) Webレクチャーに対応できる方	定員	無制限
コースディレクター (ツアーコンダクター)CD	名古屋市立大学大学院医学研究科・高度医療教育研究センター・産科婦人科学 教授 尾崎康彦				

科目概要 および 期待される 成果	【概要】分娩は“十人十色”ですが、共通する願いは一つ。それは“安全なお産”です。令和の時代になりさらに少子化に拍車が掛かる日本でもハイリスク分娩は確実に増加しています。ひとつひとつの妊娠や分娩に関わる医療も、常に進化しより濃厚なものになってきています。世界に誇る高い日本の周産期医療レベルを維持するため分娩に携わる医師、助産師、看護師、救急救命士、薬剤師や心理士らがよりハイレベルの知識と技術を身につけ“チーム医療”を構築することが重要です。今回初めてツアーに参加される方や更なる“極み”や“深み”や“高み”を追求したい“常に一歩前に突き進む”リピーターの方々にもきっと満足していただけますよ、今年度も“ここでしか言えない、後世に伝えたい症例(本当にあった恐いお話)”を随所に織り込みながらストーリーを展開させます。日常の周産期現場のライブ感溢れる「Birth Tour 2020」へようこそ。物語を完成させるのは貴方です！今年もスタッフ一同、新企画を準備して皆様のご参加をお待ちしております。尚、例年お馴染みの「見切り発車オーライ！」に加え、COVID-19でこのご時世です。ツアープラン、オプションツアーやパースプランは予告なく変更される場合がありますのでご了承下さい。開始時間は集合時間ではありません。出発時間は厳守です。 【期待される成果】日本は依然として深刻な産婦人科医師や助産師などの産科プロバイダー不足の状態です。30歳代までの産婦人科医師の約70%が女性医師であり、出産や育児によって休業した医師や助産師の現場復帰をサポートすることが今後の日本の周産期医療を支えるために重要です。最新の周産期医療を学び、自信を持って即戦力としての現場復帰を支援することを目標とします。また、助産師や看護師が超音波検査や分娩監視装置を学ぶことで、不足する産科医と協力しサポートし合うことができます。院内助産所(パースセンター)の開設を促進したり、さらに初期研修以降産科を学ぶ機会の少なかった医師や救急救命士が妊婦を診察するケースにおいて役立つ知識や技術を習得することができます。周産期医療従事者の“サロン”的な場を提供します。このツアーを切り口に、さらなる周産期教育のコミュニティが“時空を超えて”形成されています。“地域のお産を守る！”ためにも、今年も“安全なお産をめぐる冒険”は果てなく続きます。
目標とする 資格	将来NCPR(新生児蘇生法・日本周産期・新生児医学会)やBSLO・ALSO Japanなどの講習会を受講し資格の取得を目指す方や、振り返りをしたい方に役立つ内容を盛り込んでいます。

サブカテゴリー	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
【新企画①】 L-1	1	Birth Tour 2020 - DEPARTURE - “Birth Tour この指止まれ！”	“おめでたですよ！”の歓喜の瞬間。喜びと不安の中で、未知なる冒険の始まりです。赤ちゃんの元気な産声とご家族の笑顔を描きながら、我々も旅の準備をしましょう。頼れる伴走者として。	9月3日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学病院 高度医療教育研究センター(産科婦人科)
L-2, D-1	2	安全なお産をめぐる冒険 “チーム STEPPS” 始動！	十月十日の旅が始まりました。“安全なお産”を目指して、合い言葉は「チームSTEPPS」。これが流行りのステップです。さあ医療チームとしての共通言語、メンタルモデルを共有しましょう！	9月10日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学病院 高度医療教育研究センター(産科婦人科)
L-3, RHO-1	3	赤ちゃんが見える “超音波診断法最新情報”	1980年代半ば以降、超音波断層法によりブラックボックスに光が射し込みました。「形や大きさだけでなく機能まで見えるんだ！」って話や検査時の妊婦さんとのコミュニケーションのコツまで伝授していただけます。	9月17日	非常勤医師 熊谷恭子(実務家教員) 名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学
【新企画②】 L-4, RHO-2	4	こころとからだに寄りそう不育症治療とケア	妊娠は成立するが、その後流産や死産を繰り返して生児を得られない不育症について、“患者さんのからだ(肉体的)とこころ(精神的)に優しい”流産治療法と共に紹介します。	9月24日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学病院 高度医療教育研究センター(産科婦人科)
L-5	5	<ダブルフューチャープログラム-1> “最強のメンタルサポートチーム” ①妊婦さん・授乳婦さんの正しいお薬の使い方 ②妊娠・出産における心のケア	①胎盤を通過して胎児に移行したり、おっぱいに出てくるお薬もあります。専門家のお話ですから安心は無し。「XXXセンター」のホームページを見て下さい。②など、もうごまかしは出来ません。②一人の女性が妊娠出産を通して体験する人生のプロセスと、支援が必要なメンタルヘルスの問題を考えいきましょう。	10月1日	①薬剤師 加藤順子 名古屋市立大学病院 薬剤部 ②臨床心理士 三木有希 元名古屋市立大学病院 不育・不妊センター
L-6, RHO-3	6	陣痛の魔術師 “切迫早産・陣痛誘発最前線”	目的地到着予定時刻は37週0日から41週6日までの5週間です。早くても遅くともそれはハイスピードです。その為に陣痛を調整するナビゲーションを体験します。システムは常にバージョンアップされています。世界での最新の方法をご紹介します。コックピットには妊婦さんは絶対入室禁止です。“知らないとかないやん！”。③の疑問はない？	10月8日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学病院 高度医療教育研究センター(産科婦人科)
【新企画③】 L-7, D-2	7	“いい感じ(well-being)”を目指して 胎児心拍数モニタリングを極める！	胎児の“元気”を知るための検査方法を紹介いたします。特に最近、クライテリアがバージョンアップされ、にわかに議論の活発な胎児心拍数モニタリング法を先取りします。自分がタキ(頻脈)、手に汗握る症例を共有しましょう。	10月15日	産婦人科医師 青山和史(実務家教員) 名古屋市立西部医療センター 第3産婦人科部長
【新企画④】 L-8, D-3, VR	8	VR学会 1st. Birth Tour Meeting 2020 テーマ:胎動“もう一つのメッセージ”	軒並みキャンセルの現状に、ハングリーな貴方をVR学会にご招待します。“胎動を見逃さず者は、胎動に泣く”その胎児の叫びを貴方は捉えることが出来るか？妊婦さんに優しい世界へようこそ。小坂先生の“MommyTummy”がご要望に応え復活します！	10月22日	教授 尾崎康彦(実務家教員)名古屋市立大学病院 高度医療教育研究センター(産科婦人科) 助産師 米倉彩乃 名古屋市立大学病院 8階北病棟 産科 教授 小坂崇之(工学博士) 神奈川工科大学
【新企画⑤】 L-9	9	<ダブルフューチャープログラム-2> 病院前分娩対応！ ①「病院前分娩」が来た！ ②“熟る子も啼く”病院前新生児蘇生法	①愛知県の妊婦さんの枕で二つとも三つも高いって知ってますか？頼もしい彼らの「病院前分娩の実態」と「救急救命士が対応した院外出産症例の検討」の報告です。②名市大発祥！最新の病院前新生児蘇生法も学びましょう。	10月29日	①救急救命士 井戸康二 (名古屋市消防局) 田島典夫(小牧市消防本部) ②小児科医 加藤文典(実務家教員) 豊橋市民病院 小児科(新生児)第3部長
【復活企画】 L-10, RHO-4	10	異常分娩う “正常分娩からの逸脱”	“1リットルの涙”を知っていても“500mlの分娩時出血”はほとんど知られていません。“お産の安全神話”はこのように時に音も立てずに崩壊します。血圧が上がり、血が固まりそして固まらない！異常分娩のサインを見落とさないように。あってはならないその時に備えましょう。	11月5日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学病院 高度医療教育研究センター(産科婦人科)
【新企画⑥】 RHO-5	11	ミステリートレイン ご当地便り “レジェンド訪問編”	「温故知新」！周産期医療も時代は回ります。「身に覚えあり！」のツアコンが、自らのキャリアを振り返りながら「胸に覚えあり！」の連人の「匠の技」を探しに出ます。シークレットツアーに乞うご期待下さい。	11月12日	シークレットレジェンズ・ イン・シークレットガーデン
L-11	12	ザ・チーム 硬膜外分娩(無痛分娩)やって良かった！ 産科麻酔 Up to Date	「無痛分娩ってぶっちゃけ良いものだと思いませんか？」ある研修会で核心に触れる問いが投げつけられた。昨年、中部地区初の大学病院での産科麻酔講座が当院に開設された。確実に見えることは、導入を機会に安全なお産を考え直す機会を得たこと。ザ・チーム硬膜外分娩はその答えを見つけることができるでしょう。そのプロセスと少し見えてきたことを紹介します。	11月19日	教授 田中基(実務家教員) 名古屋市立大学病院 周産期母子センター(周産期麻酔部門)
D-4	13	苦いカルテ “後生に伝える症例” (症例検討・ディベート)	命を預かる者として「善報した。しかし全滅した。」などは決して許される事ではありません。何故そうなったのか？どこに“ポイント・オブ・リターン”があったのか？再び遭遇した時にどう対処するのか？胸にしまったカルテの封印を敢て解き、黙ってあの世に持っては行けない“REAL”な思いを伝えます。大好評の戦後のプログラムは今年も・・・	11月26日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学病院 高度医療教育研究センター(産科婦人科) ＆チーム“学びなおし”(OG・長谷川節恵)
L-12	14	赤ちゃんが生まれた後も危険がいっぱい “分娩後の異常にもご用心”	“赤ちゃん生まれました！おめでとうございます！” 妊婦さんや家族の安堵の表情にホッと安心のはずが・・・ 実は母体死亡の約40%は胎児娩出後に起こっています。大量出血や血栓症など危険がいっぱい。そんな異常に最初に気付くのは皆さんです！	12月3日	講師(統括医長) 菊地範彦(実務家教員) 信州大学付属病院産婦人科
L-13	15	Birth Tour - ARRIVAL - 誕生 Live 2020 “Human Feedbackの約束”	“オェ出し”、“見受け”や“お迎え”で今まで見ること出来なかった帝王切開を動画を提供し、術中のチェックポイントを解説します。貴方は既にハイリスク分娩に対して“安全なお産”をサポートできています。Birth Tourを振り返り(デブリーフィング)ながら、誕生の喜びをかみしめましょう。“新たな旅”に南からって！グランドフィナーレです。	12月10日	教授 尾崎康彦(実務家教員) 名古屋市立大学病院 高度医療教育研究センター(産科婦人科)

L: 講義形式 D: 双方向議論形式 RHO: リモートハンズオン(新構想) VR: 仮想現実

※全ての講義(全15回)をWeb方式(zoom使用)で実施予定です。